

経営比較分析表（令和5年度決算）

長崎県長崎市 長崎市松が枝町第2駐車場

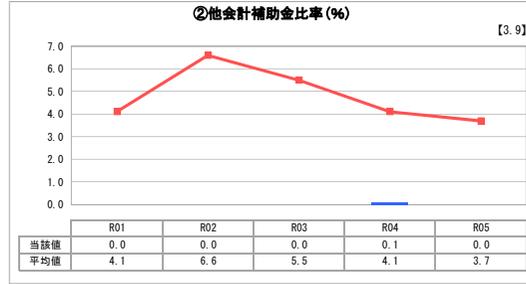
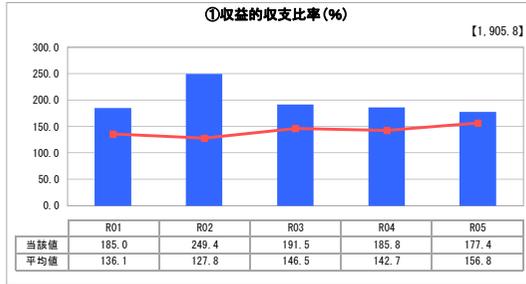
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 屈出駐車場	立体式 地下式	34	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	有	2,700
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
109	1,500	利用料金制

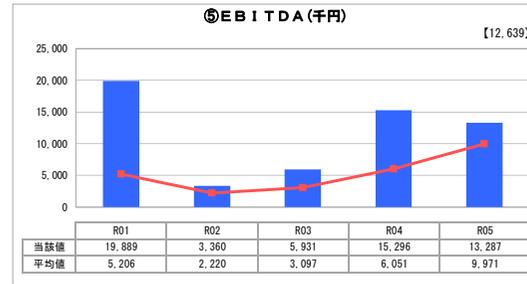
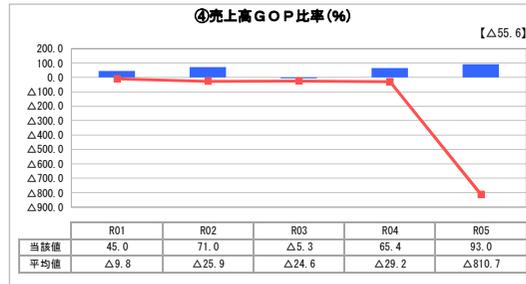
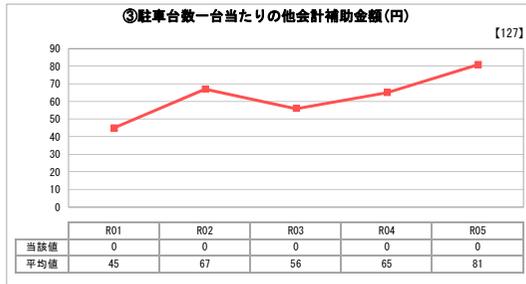
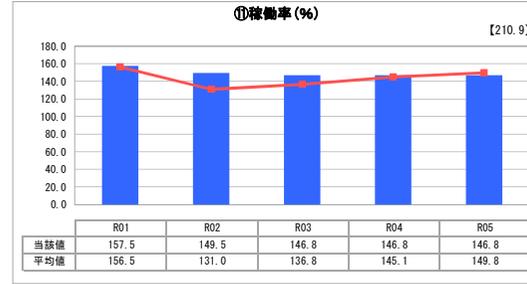
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

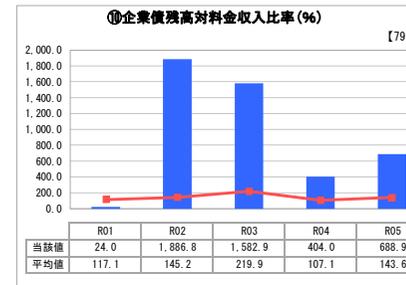


⑧敷地の地価(千円)

110,415

⑨設備投資見込額(千円)

61,293



分析欄

1. 収益等の状況について
 新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復しており、例年と比較減少しているものの黒字となった。
 今後の収益の見込みについては、団体旅行のバス利用が減少傾向にあるものの、世界遺産の構成資産であるグラバー園に近接していることから、収益は安定して推移するものと想定している。
 施設の更新・投資に充てる財源についても、より慎重に確保していく必要がある。

2. 資産等の状況について
 依然として、企業価値高対料金収入比率が大きい(令和4年度の床タイル改修等工事による)が、一定の収益が継続して見込める状況であることから、必要な施設の更新は行っていく。
 躯体等の改修については、平成27年度に調査をし、緊急性のある損傷はないとされているが、長寿命化に向けた対応として、予防保全対策など改修を実施していく。

3. 利用の状況について
 新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復してきたが、稼働率は、全国平均、類似施設よりやや下回っており、新型コロナウイルス感染症のまん延後の生活様式の変化などで団体旅行のバス利用が減り、普通車による個人旅行が増加している傾向がうかがえる。しかしながら、観光地周辺の駐車場として、バス駐車場及び普通車駐車場の需要は高く、安定した経営が行われている。

全体総括
 収益は安定して黒字となっており、おおむね健全な経営状況である。
 今後も健全な経営を続けていくために、指定管理者制度(令和2年度から利用料金制を導入)による利用者サービスの向上及び増収対策に努めるとともに、施設の更新・投資に充てる財源を計画的に確保していく。